

平成27年度 奈良県地域包括ケアシステム 構築支援補助金事業の取り組み状況

天理市の現状

各種人口(平成27年11月1日現在)

	天理市	奈良県
総人口	67,223人	1,396,879人
高齢者人口	15,947人	379,929人
高齢化率(%)	23.73%	27.20%
要支援／要介護認定者数 (%)	1,052人／3,192人 32.96%	* 奈良県の数値は 平成27年10月1日 現在

地域包括ケアシステム構築のための 今年度の取り組み

- ①平成28年度の(新)市立メディカルセンター供用開始に向けた、医療介護連携及び介護予防推進の拠点整備準備
- ②認知症高齢者の徘徊等による行方不明時のスムーズな初期対応を目指す事前登録制度...「高齢者登録カード」運用開始
- ③医療・介護機関のソーシャルキャピタルの調査及び調査結果の市民への周知を目的に...マイプランノートの冊子作成・配付(当該補助金対象事業)
- ④介護予防推進及び総合事業実施の下地づくりのための新たな取り組み...介護支援ボランティアポイント制度の導入(当該補助金対象事業)

マイプランノート作成の目的とその内容

目的 高齢者を対象として、「人生最後の瞬間まで自分らしく生きるとは？」について考える機会を持ってもらい、自分らしく生きてもらうための情報を提供する。

内容 3部構成で、①医療や介護に関するソーシャルキャピタル情報の提供 ②認知症に関する情報提供(≒簡易な認知症ケアパス)③人生最後の瞬間に備えるエンディングノート

マイプランノート冊子作成スケジュール

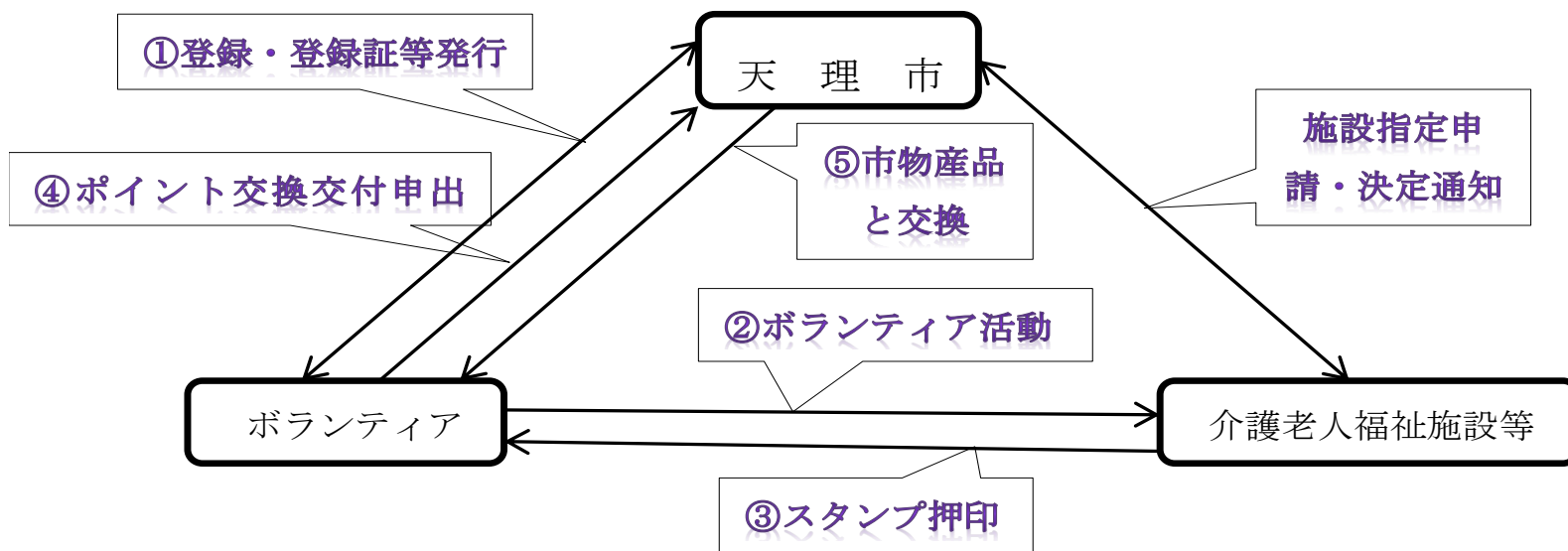
平成27年	7月～	医療や介護のソーシャルキャピタル(以下「SC」という。)情報の調査
〃	8月～	SC情報の整理・認知症ケアパス情報の整理
〃	9月～	冊子原稿作成開始(エンディングノート部分の作成も)
〃	10月	冊子原稿作成終了
平成28年	2月	冊子完成
〃	3月	冊子配付予定

介護支援ボランティアポイント制度導入の概要とその内容

目的 介護支援ボランティア活動を通じて、地域貢献や社会参加することで、自身の介護予防を推進してもらう。

内容 高齢者(65歳以上の市内在住者)が介護老人福祉施設等でボランティア活動を行った場合、活動実績に応じてスタンプがたまり、そのスタンプをポイントに交換、最終的に市物産品と交換する仕組み

《介護支援ボランティア制度の流れ(図)》



介護支援ボランティアポイント制度導入スケジュール

- 平成27年 7月～ 介護支援ボランティアポイント制度実施に関する具体的
取り組みを開始
- 平成27年 8月 ボランティア登録のための講習会(一次)開催
【登録者24名】
- 平成27年 9月～ 一次登録者がボランティア活動を開始
- 平成27年10月 ボランティア登録のための講習会(二次)開催
【登録者4名】
- 平成27年11月～ 二次登録者がボランティア活動を開始
- 平成28年 3月 ボランティア活動で集めたスタンプをポイントに交換。
交換ポイントに応じて市物産品を付与予定。

今後の方向性

- ・介護支援ボランティアの活動をきっかけに、総合事業に位置付けられるような生活支援の活動（例えば、有償ボランティア組織など）に発展させていきたい。
- ・現行のマイプランノートの内容に、在宅医療と介護の連携を推進するような内容を盛り込んでいきたい。